

授業科目	一般臨床医学						
担当者	藤岡 重和 (実務経験者)・岡本 文雄 (実務経験者)・神納 光一郎 (実務経験者) 福山 智子 (実務経験者)・竹原 友貴 (実務経験者)・福原 雅之 (実務経験者) 藤本 宣正 (実務経験者)・矢吹裕栄 (実務経験者)						(オムニバス)
実務経験者の概要	科目担当者である藤岡、岡本、竹原、福原、藤本は、医療機関において医師として診療業務に、福山は看護師として従事した経験がある。矢吹は、言語聴覚士として、従事した経験がある。						
専攻(科)	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位	講義	講義
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修	形式	

## ■ 内 容

救急医学の概要と救急措置法について概説する。リハビリテーション医療に必要な救急病態を理解し、蘇生法、止血法、固定法、運搬法等の救急措置法を学習する。次に、外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻科領域の代表的疾患について、その病因、病態、症状、検査、評価、治療を学ぶ。また、皮膚科、眼科、耳鼻科疾患を有する対象患者のリハビリテーション実施上の留意事項についても概説する。

## ■ 到達目標

1. 救急疾患の病態を理解し、蘇生法、止血法、固定法、運搬法等の救急措置法を修得する。
2. 外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科の代表的疾患について、その病態、特徴的に現れる症状、検査、診断、治療法を説明できる。
3. 皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科疾患におけるリハビリテーション実施上の留意事項を説明できる。

## ■ 授業計画

- 第1回 救急医学総論 (1) 岡本文雄/藤岡重和(実務経験者)  
 第2回 救急医学総論 (2) 岡本文雄(実務経験者)  
 第3回 救急医学各論 (1) ショック、心肺停止 神納光一郎(実務経験者)  
 第4回 救急医学各論 (2) 意識障害、吐血、下血と腹痛 神納光一郎(実務経験者)  
 第5回 救急医学各論 (3) 外傷、環境障害 神納光一郎(実務経験者)  
 第6回 産科学 福山智子(実務経験者)  
 第7回 婦人科学 福山智子(実務経験者)  
 第8回 皮膚科学 竹原友貴(実務経験者)  
 第9回 皮膚科学 竹原友貴(実務経験者)  
 第10回 眼科学 福原雅之(実務経験者)  
 第11回 眼科学 福原雅之(実務経験者)  
 第12回 耳鼻咽喉科学 矢吹裕栄  
 第13回 耳鼻咽喉科学 矢吹裕栄  
 第14回 泌尿器科学 藤本宣正(実務経験者)  
 第15回 泌尿器科学 藤本宣正(実務経験者)

## ■ 評価方法

科目試験(筆記試験)	◎		100%
レポート			
小テスト			
その他・備考			

## ■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

各授業では、次回までに学習すべき課題を提示しますので、事前学習を必ずしておいてください。また、次回授業までに、前回の授業内容を各自ノートにまとめて十分に復習してください。

## ■ 教科書

書名：PT・OTのための一般臨床医学

著者名：明石 謙

出版社：医歯薬出版

## ■ 参考図書

書名：救急診療指針 改訂第4版

著者名：日本救急医学会監修

出版社：へるす出版

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

## ■ 講義受講にあたって